

# タンザニア連合共和国 概況と協力の方向性

- 人口: 約4,622万人(2011年)
- 面積: 約94.5万km<sup>2</sup>(日本の約2.5倍)
- 一人当たりGNI: 540ドル(2011)
- GDP構成比(2011): 第1次産業(28%)、第2次産業(24%)、第3次産業(48%)
- 貧困率: 33.4%(2007、世銀)
- 人間開発指数: 152位/187ヶ国中
- 為替レート: 1USD=1,609タンザニアシリング(2013年6月)
- 主要産業: 金、農業、サービス業
- 主要輸出: 金、製造品、綿、タバコ、コーヒー等
- 主要輸入: 機械類、原油、産業資材等(いずれも2009)

(2012年)  
 <主要マクロ経済指標(11/12以降は推計値)>

	2007/08	2008/09	2009/10	2010/11	2011/12
名目GDP(10億ドル)	19.0	21.0	22.6	23.4	25.4
実質GDP成長率	7.3	6.7	7.3	6.5	6.4
財政収支(GDP比、%)	0	-4.6	-6.4	-6.6	-6.2
経常収支(GDP比、%)	-11.1	-10.1	-9.1	-9.4	-14.9
外貨準備高(対月間輸入比)	4.2	4.5	5	4.3	3.6
対外債務残高(GDP比、%)	30.7	27.1	29.9	34.7	35.4

\*会計年度は、7月～6月。\*歳入にはグラント含まず。 出典:IMF等

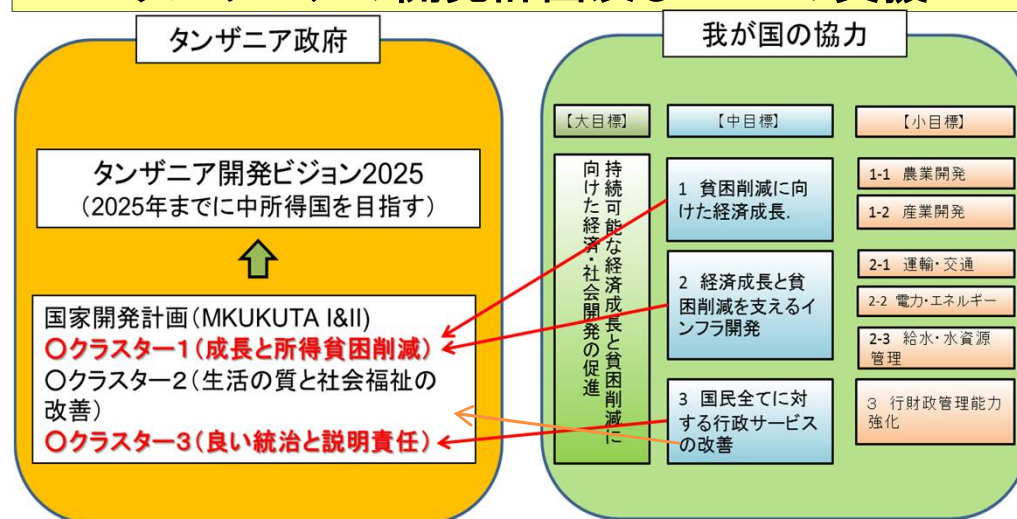
- 国民の大多数が貧農であり、中間層の育成が鍵。農業生産性を高め農業従事者の所得水準を向上させると共に、産業多角化による雇用創出が重要。
- 約30TCF規模の天然ガスが発見。右開発が順調に進めば、2017年からUSD20～30billion規模の直接投資と、2020年以降、USD 3billion/年の外貨獲得(GDP比10%程度)、財政面でUSD 2billion/年(GDP比7%程度)のプラス効果が期待。

## 対タンザニアODA実績

円借款、無償はE/Nベース、技協は年度予算 単位: 億円

年度	円借款	無償資金協力	技術協力	合計
2006年	88.57	37.76	24.44	150.77
2007年	20.00	57.05	22.03	99.08
2008年	20.00	51.50	20.62	92.12
2009年	91.19	44.44	23.25	158.88
2010年	60.48	83.78	25.98	170.68
2011年	15.00	29.23	35.48	79.71

## タンザニアの開発計画及びJICAの支援



### 重点分野:

- 2012年6月策定の「国別援助方針」に基づき、MKUKUTA IIを支援するため、農業・産業開発、インフラ(運輸・交通、エネルギー、水)、行政サービス改善に重点を置いて支援。
- 事業実施に当たっては同国の開発において貧困削減と経済成長の両面がバランスよく推進するよう配慮する。また、援助協調や政策対話に積極的に参画し、適切な援助手法を効果的に組み合わせながら、包括的・戦略的な協力を実施(日本は2012年より運輸・交通ドナーグループの議長、2013年より農業ドナーグループの議長を務めている)。

## 地域別戦略・民間連携

### <地域の視点から見たタンザニア国の重点課題>

- 域内の経済活性化に留意しつつ、全国物流網・経済回廊・電力開発を検討。特に中央回廊開発に着目。港湾(ダルエス圏)、OSBP、道路・鉄道開発及び回廊沿いの産業開発を総合的に推進していく。

### <民間連携>

- 東アフリカの玄関口という利点を生かし、本邦企業(現在約20社、SSA第3位)の更なる進出に向け、一般財政支援を通じた政策対話への参画、インフラ整備、5S・KAIZEN活動の展開を通じて、ビジネス環境改善を図る。
- 資源・エネルギー(商社)、農業機械(メーカー)、地熱開発等の分野で関心を示す本邦企業との連携可能性を模索する。